

事業&活動報告

市民活動団体の祭典！「千葉市民活動フェスタ2024」開催のお知らせ

年に一度の恒例行事「千葉市民活動フェスタ」(以下、フェスタ)が今年も開催！千葉市における市民公益活動団体、ボランティア及び関係機関が、多くの市民に活動内容をPRし、活動を活性化させることを目的としたフェスタにぜひご来場ください。今回は「きぼーるアトリウム」にて2日間開催します。

【テーマ】五感de発見・没入(NEW)体験!!

日時▶11月16日(土) 9:45~15:00
11月17日(日) 10:00~15:00

会場▶きぼーるアトリウム(中央区中央4-5-1 1階)

【実施内容】

- ・ **ブース出展**：活動内容の展示や販売・相談・体験など
- ・ **ステージ発表**：団体の活動紹介、演奏、歌唱、健康体操、戦争体験紙芝居など
- ・ **体験コーナー**：団体の活動の体験(ポッチャ・マジック・ヨガダンスなど)、ワークショップ(折鶴を使ったクリスマスカードづくり)、学習会など
- ・ **スタンプラリー&抽選会**：
会場内のブースをまわって団体と交流しスタンプを5個集められたらガラポン抽選会に参加できる催しです。

※各ブースの相談・体験、体験コーナーでは費用がかかる場合がございます。

【イベント情報詳細】

フェスタに関する情報を千葉市民活動支援センターのWebサイトにて公開中
<https://chiba-npo.net/festa2024/>



第2回ちばさぼ交流サロン

千葉市民活動支援センターにて2024年8月10日(土)12:00~15:00に開催された「ちばさぼ交流サロン」、今回のテーマは、「フェアトレードマルシェde交流~私達にできること~」。いつものサロンとは違い、センター全体を使い、「Tomo's cafe」によるお弁当・お菓子・オリーブオイルの販売、「はあもにい」による、グッズ・お菓子・チョコの販売、入口前では、「軒先珈琲」によるドリップ珈琲の販売をしていた。参加者は、会議室で、お弁当やお

菓子、珈琲を囲んで、私にできるフェアトレードを話し合おうという、いつもと違う交流サロンを楽しみました。

※「こんな交流サロンやりたい!!」のリクエスト募集しています。ぜひ、ちばさぼまでメールください。



ミニコラム

ちばさぼの風 vol.64

夜間中学をもっと知ってください。

第二次世界大戦後の混乱期、「生きていくのが精いっぱい、中学どころではない」という人が大勢いました。こうした人たちのため、昼間働いたあとで勉強ができる夜間中学が多数設置されましたが、高度成長の中、社会の変化に伴って、その数はかなり減少してきました。しかし現在、再びの社会変化により夜間中学への新たなニーズが生まれています。

■どんな人が

現在、夜間中学に通っているのは、例えば親の仕事や結婚などで来日したが、学齢を既に超えていた人、また、いわゆる中国残留孤児の人なども含まれます。

日本人でも、様々な事情で中学校を卒業しなかった人が通っています。また十分な教育を受けないまま卒業扱いとなっている「形式卒業者」など、本当にいろいろな人たちが机を並べています。

■自主夜間中学というかたち

2015年に文部科学省が、形式卒業者の入学も認めました。しかしそれに加え、千葉市に増えている外国人にも学びの機会を提供する必要があると考えた人たちが、2018年に

熱意で開いたのが「ちば自主夜間中学」です。この学校は校舎を持たず、美浜区の高洲コミュニティーセンターで月4回、木曜日の17:30~20:15に開講します。カリキュラムは生徒の数だけあり、ボランティアに支えられながら、だれでも、いつからでも学べます。

■公立夜間中学 かがやき分校

千葉市には公立の夜間中学が現在1校だけあります。令和5年4月、教育複合施設「まさご夢スクール」の中に開校した、千葉市立真砂中学校「かがやき分校」です。年齢・国籍等による生活経験や学力も一人一人異なる生徒に合わせて、授業が工夫されています。公立の夜間中学で使われるのは昼間の学校と同じ教科書、卒業の際には中学校の卒業証書をもらうことができます。

※下記を参考にしました

夜間中学を知っていますか

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201601/1.html>

千葉市の夜間中学

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/gakuji/yakanntyugakkou.html>

ちば自主夜間中学

<https://chiba-yachu.com/>